

1. 個人旅行・インバウンド観光を促進する地域ブランディング事業

～「重点道の駅」「宿泊施設」等の連携強化によるサービス向上～

(高速道路利用・観光・地域連携推進プラン 2019年度・2020年度・2021年度事業)

団体旅行から個人旅行への旅行形態の移行、インバウンド観光の市場規模拡大を念頭に、集客拠点である「しまなみ海道」沿線の「重点道の駅」等での情報発信、休憩機能を強化する取り組みを行った。サイクリストへ安全で快適に周遊できる環境、サービスのネットワーク化を精査し、今期は自転車のメンテナンスの応対に役立つマニュアルを作成した。また、広域ルートの中継地点として、宿泊者が増加する今治市中心市街地を含む「はまかぜ海道」沿線に立地する当会保有のゲストハウスと市内の宿泊施設との連携を強化し、滞在者の満足度を向上する施設づくり、コンテンツづくりに取り組んだ。

① サイクリングマップ「島走マップ」シリーズの英語化

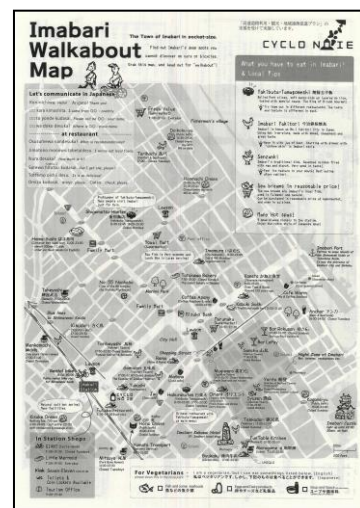
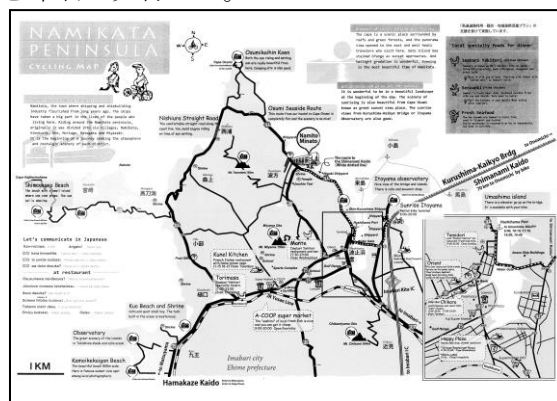
サイクリングの際、地図は必需品である。スマートフォンの地図を活用する愛好者もいるが、紙媒体で電波状況を気にせず確認できるマップの利便性は高い。外国人が事前にしまなみサイクリングの情報を収集できるマップ、また安心して現地走行できる携帯マップは存在しない。シリーズ化された「島走マップ」の英語化を進め、実際に来訪する外国人サイクリストに活用いただいた。

② サイクリングマップ「島走マップ」シリーズの英語化

サイクリングの際、地図は必需品である。スマートフォンの地図を活用する愛好者もいるが、紙媒体で電波状況を気にせず確認できるマップの利便性は高い。外国人が事前にしまなみサイクリングの情報を収集できるマップ、また安心して現地走行できる携帯マップは存在しない。シリーズ化された「島走マップ」の英語化を進め、実際に来訪する外国人サイクリストに活用いただいた。

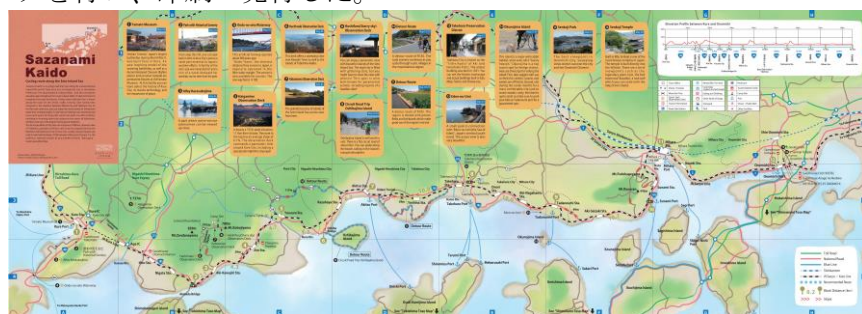
(1) まちなか・なみかた（英語版）の発行

旅行行程を決めず来訪する外国人サイクリストを意識し、宿泊施設周辺情報の魅力を可視化するマップを印刷・発行した。



(2) さざなみ・たかなわ・いしづち（英語）の発行

既存情報の見直し、外国人サイクリストに訴求する観光情報の収集を進めた。英語への翻訳、デザインワークを行い、印刷・発行した。



2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、インバウンド需要が見込めない中ではあったが、アウトドアで楽しむ観光コンテンツとして、サイクリングへの期待感が高まりを感じた。アフターコロナのインバウンド需要を期待し、ワンランク上のサービスとして、情報ツールの質の向上に使命感を持って取り組むことができた。業務推進中にはしまなみサイクリングを愛好する日本在住の外国人、ユーザー等から発行物への関心、激励が寄せられるなど、支援のネットワークが構築される場面もあった。次年度へつなぎたい。

② サイクルクルージングのブランド化

サイクリングと船を組合せたツアーを催行した。船会社と連携し、島の移動に船を活用しながら、瀬戸内エリアをサイクリングする臨時船を離発着させることを通して、交通利用に留まらない船の観光利用へのイメージ転換の可能性を図った。上陸ポイントでは、島民参画のもと、体験やアクティビティをプログラム化し、交流を促した。

■アイランドホッピングツアー2020

●第3回瀬戸内スローサイクリング

「瀬戸内ブランド」のシンボル商品として、商品化することを目指し、モニターツアーとして集客を進めた。「スローサイクリング」というツアータイトルが訴求し、20 歳代から 70 歳代まで幅広い年齢層のビギナーサイクリストの参加を得ることができた。サイクリング旅行に船を活用することで、瀬戸内ならではの海の旅が楽しめ、また行動範囲が広がる魅力がある。ブランド化にあたり、しまなみ海道サイクリングリピーターでも行ったことが少ない島への寄港を造成した。

日 時：2020 年 11 月 1 日（日）

参加者：21 名

運航路：＜往路＞ 波方漁港（波方）7:50 発
＝佐木島港（佐木島）8:50 着・13:35 発
＝小佐木島港（小佐木島）13:40 着
＜復路＞ 小佐木島港（小佐木島）14:10 発
＝瀬戸田港（生口島）14:20 着・14:23 発
＝幸港（大島）15:10 着



実線：航路・点線：サイクリング

●第4回瀬戸内スローサイクリング

2 人 1 組で楽しむタンデム自転車の特性を活かし、ゆっくりと地域を楽しむツアーを企画し、親子、夫婦、視覚障がい者までを含む、多様な参加者の参画を促すことができた。コースの構築にあたっては、しまなみ海道リピーターが多いことが予想されたため、船の利点を活かして普段は足を延ばさないルートを設定することで、ツアーの魅力を高め集客力のアップにつなげることができた。

日 時：2021 年 3 月 21 日（日）

参加者：24 名

運航路：＜往路＞ 波方漁港（波方）7:50 発
＝重井東港（因島）9:00 着
＜復路＞ 金山港（因島）16:00 発
＝今治港（今治）17:10 着



実線：航路・点線：サイクリング

エリア内を自転車で楽しむスタイルに、船での移動を誰もが盛り込むことができるよう、地元の船会社と共同運行した。島々の港を利活用し、定期航路との共存を模索した。船旅を楽しみに参加した人が多く、自転車と組み合わせてアクティビティの一翼を担う効果的な移動手段として、今後の展開の可能性を感じた。また行ったことがない島々を上陸ポイントに選んだことで、リピーターからも斬新なエリア開拓への評価を得た。

③ ルート情報説明マニュアル(パンフレット)の作成

きめ細かなルート情報等、サイクリストが求める情報を精査し、現場スタッフが活用しやすい情報集を製作した。情報集はパンフレット化し、増加が見込まれるインバウンド客への情報を提供する媒体として活用できるようにした。パンフレットを活用した研修会を開催し、サイクリスト受入施設のおもてなしの向上に寄与することができた。



2019年度のナショナルサイクルルート指定を受け、地域一丸となって、サイクリストを受け入れていく体制整備が加速している。コロナ禍の中、アウトドアで楽しむ旅行コンテンツとして、サイクリングへの期待感もあり、サイクリストを受け入れる観光関連事業者はもちろん、地域の住民からもサイクリストへのおもてなし力向上への意欲を感じた。

④ 市内回遊の誘引「自転車タクシー」の商品化

インバウンド誘致のコンテンツとなる「しまなみ輪タク（自転車タクシー）」による散策ツアーについて、販促活動を展開した。2019年度に行ったルート設計を可視化したマップを印刷し、2020年度ツアー催行の告知媒体を配布した。新型コロナウイルス感染拡大への予防措置として、今治市民対象ツアー等、地元住民への乗車販促を積極的に行った。

「しまなみ輪タク」シーズン運行の様子

しまなみ海道へサイクリング旅行に訪れた方に留まらず、来訪者に自転車タクシーへの乗車をいただけた。地元の飲食店と連携し、夕食前の時間を利用しての乗車等、多様な利用方法を提供できた。

住民を対象に、イベント会場などで展開予定であった試乗会等は、新型コロナウイルス感染拡大の自粛を受け、実施を見送った。



インバウンド旅行者の利用を期待し、造成したコンテンツであったが、当面、インバウンドの回復は見込めないため、日本人を対象とした募集型ツアー等との連携し、商品のPRを行う必要性を感じている。Go To トラベルキャンペーンにおいて、集客が回復している宿泊施設等と連携した宣伝活動を工夫することが必要だと感じている。

⑤ 地産食材提供の「サイクリングエコツアー」の商品化

耕作放棄地の活用した「シクロ農園」を拠点に、農産物直売・加工・「食」の交流会の商品化へ向けたモニタリングを行った。今治市波方半島エリアをサイクリングし、耕作放棄地を活用した実験農園「シクロ農園」で季節の野菜、山菜、果樹を収穫した。周辺園地の担い手、加工製造の提携店との役割分担が進み、収穫体験、土産として持ち帰ることができる自然素材を利用したワークショップの提供も行った。翌日のランチタイムは作り手である住民、ガイドが季節感ある食材の採取、調理や食べ方を紹介する等、食の関心を高める時間を楽しんだ。加工、製造を通して、サイクルオアシス総合拠点「はまかぜサイクルオアシス総合拠点 なみとみなど」を介した商品展開をしくみ化したい。

第3回 自然の癒しを求め瀬戸内の里山と里海を巡る『せとうちスローサイクリング』

日時：2020年10月31日（土）・11月1日（日）

サイクリング走行距離：1日目：約23km・2日目：約56km



第4回 自然の癒しを求め瀬戸内の里山と里海を巡る『せとうちスローサイクリング』

日時：2021年3月20日（土）・21日（日）

サイクリング走行距離：1日目：約23km・2日目：約42km



■住民交流型ツアー（担い手育成・モニターツアー）

「シクロ農園」大交流会『せとうちスローサイクリング』

日時：2020年10月31日（土）

サイクリング走行距離：1日目：約20km・2日目：約31km

募集型モニターツアーには県外来訪者を迎える中、地元住民とサイクリストの交流を促す住民交流型のモニターツアーを行った。サイクリストの評価を伝え、住民にもその提供プログラムを体感いただく機会とした。時候柄、早生みかんの収穫時期となり、収穫体験をしながら、意見交換を行うことができた。耕作放棄地化する園地保有者、就農希望者の参加を得て、耕作放棄が増える中での里山保全へのチャレンジ活動への理解を共有できた。



2. しまなみサイクルグランピング構築事業（令和2年度国立公園等資源整備事業費補助金）

～瀬戸内海国立公園におけるオペレーション体制等の構築～

農山漁村地区の担い手との交流、滞在型コンテンツと地域保全が連動するツーリズム造成について、グランピング等の促進に取り組んだ。多種多様なレンタサイクルのしくみが機能している「しまなみ海道」エリアだが、キャンプツーリングを支援するアイテムは従来のサイクリングとは異なる仕様で、その用品レンタルは存在しない。そこで、キャンプツーリングに適したバイクの貸出、アウトドア用品の貸出等、身軽に「サイクリング×グランピング」が楽しめるしくみを整備した。同時にキャンプ場所に食材の配達、食事のケータリングをするしくみ、キャンプツーリングと合わせて楽しむことができるアウトドアアクティビティ造成を進めた。地域の担い手の参画を仰ぎ、持続可能な農山漁村の圏域形成につながる事業化を目指した。

① レンタル用品の購入と貸し出しのシミュレーション

自転車でキャンプする旅の提案を具現化するにあたり、自転車とキャンプ道具のレンタルサービスのしくみ化を整え、支援のあり方を検討した。しまなみアウトドアアクティビティの拠点「Cyclo café & book hostel なみとみなと」と想定し、施設の機能強化の方向性を確認した。



手ぶらでの来訪で、気軽にグランピングを楽しめるよう、必要な自転車、キャンプ道具のアイテムを確認

② エコツアーの造成

レンタルサービス提供時に、モデルとなる旅程(日帰り及び1泊2日～2泊3日)を提案できるよう、モデルコースを構築した。レンタル商品を利用して、しまなみ滞在を楽しむイメージ発信を進めた。また、キャンプと合わせて楽しめるコンテンツの造成、キャンプツーリングを支援する各種サービスの試行を重ねた。

《コンテンツ/アクティビティプログラム造成》

「シーカヤック」「アウトドアヨガ」「農園プログラム」等のプログラム化を進めた。



③ マーケティング（評価会）の実施

一般公募を含めたオンラインでの評価会を行った。



貸出前の情報提供(キャンプ道具の使い方、運搬用自転車の乗り方、域内の楽しみ方)の重要性、貸出と合わせたキャンプツアーの実施、グランピングの実際をガイダンスする指南本の作製等の必要性の指摘があった。

5

3. フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」運営管理事業

しまなみ海道周辺の情報発信および誘客ツールとして、フェイスブックページ「しまなみサイクリングパラダイス」を運営した。しまなみ海道沿線のレンタサイクル設備等の充実、沿線の観光コンテンツの造成等の取り組みにより、本地域の観光情報が多様なメディアで紹介されることが増えており、SNSでの情報入手への相乗的な効果を感じた。今期は、新型コロナウイルス感染拡大を抑える情勢等に鑑み、「しまなみ海道」サイクリングの基本的情報を中心に配信するよう努めた。日頃、自転車に乗ることのないサイクリング初心者が情報を求めている傾向があることから、一定の評価を得ることができる運営となったと考えている。

① カバー写真の更新

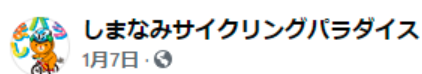
毎月1回、季節感を意識したしまなみ海道エリアの写真を更新した。見る人に「しまなみ海道」の橋梁美の印象が残るよう、季節ごと、時間ごとに表情を変える「橋」の風景を厳選した。今期は新型コロナウイルス感染緊急事態宣言発令時（2020年4月20日(月)～6月5日(金)）は記事の投稿を停止したが、カバー写真の更新は行った。記事停止期間もリーチ・いいね数が共に安定していた。

② 取材及び記事の投稿

今期は6月までは3日に1回、それ以降は2日に1回（週に1回のシェア記事を含む）のペースへ配信した。コロナ禍の中で、積極的な誘客を控える時期があり、国、地方双方の方針に沿った記事の作成と配信に努めた。しまなみ海道エリアの基礎情報について、できるだけ簡潔に、読者が地域情報を得やすい記事になるよう心がけた。なお、月に1回、英文で情報を発信した。

最もインプレッションが高かった記事（2021年1月7日投稿）

リーチ数：2921 エンゲージメント：299



【今治の変チク物を見ずに去れるか!?!】
今治市内には、屋上にお城の天守があるお菓子屋さん、未来の船舶をイメージした近未来的工場、お城型マンション、海辺の宮殿工場など、一瞬「ん!?!」と目を疑うような、個性的な建物（変チク物）がたくさんあります。
今年は第2の宮殿工場「シェンブルン宮殿工場」が今治新都市に誕生予定で、丘の上の緑に囲まれ、黄色の荘大な建屋はひととき目立つ存在です。
このほか、市内には、著名な建築家による建築物がいくつもあり今治市庁舎や公会堂、市民会館、愛媛信用金庫今治支店、常盤支店は丹下健三氏、しまなみ随一の眺望を誇る大島の亀老山展望台は隈研吾氏が手掛けたものです。



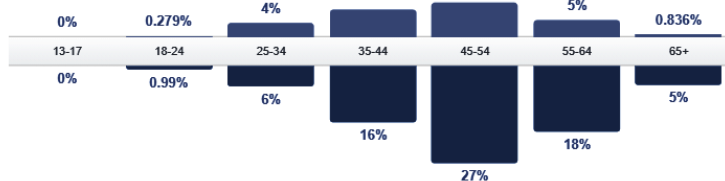
利用者の動き

女性

27%
フォロワー

男性

73%
フォロワー



国	フォロワー	市区町村	フォロワー	言語	フォロワー
日本	2,951	Ehime松山市	414	日本語	2,813
台湾	113	Ehime今治市	292	日本語(関西)	117
香港	55	Hiroshima広島市	102	繁体中国語(台湾)	112
タイ	14	Ehime西条市	88	英語(米国)	81
シンガポール	13	Osaka大阪市	86	英語(イギリス)	37

フォロワー数は3,269名（2021年2月現在）となった。前年比で人数および性別の割合は大きな変化はない。フォトジェニックスポット等、読者の興味を引く記事、サイクリングルートの情報等の基本的な記事はもちろん、観光・文化・食等の多様なコンテンツを織り交ぜた発信により、ファンを定着させることが必要だと考える。

5. ランニングバイクによる啓発事業

「なみかた海の交流センター」において開催を予定していた「自転車ヒロバ」、「しまなみランニングバイク選手権」は新型コロナ感染拡大を受け、中止した。

① レインボーハイランドカップ第4戦 しまなみランニングバイク選手権2021

未就学児に自転車の楽しさや交通規則の周知を体験型で学ぶ企画「レインボーハイランドカップ第7戦 しまなみランニングバイク選手権2021」を開催した。新型コロナウイルスが猛威を振るう中、開催の是非を検討し、対象年齢による参加人数の分散化を図っての開催とした。

選手公募は、緊急事態宣言が11都道府県に発令される時期と重なり、外出自粛等により、エントリーは鈍化した。ほぼ愛媛県内の子ども達78名を迎えての大会開催となった。子ども達が参加できる地域イベントを心待ちにしていた親子連れは、晴天に恵まれた会場で憩いのひと時を過ごした。感染防止の観点から、レース障害物等を最小限とし、参加者の安全に配慮した運営を行った。

日時:2021.2/21(日)9:30~15:00

人数:選手(2歳~6歳の未就学児)79名・一般来場382名



6. なみかた海の交流センター管理運営事業（今治市委託事業/3か年事業）

展示機能、飲食提供に加え、各種アクティビティプログラム提供、宿泊機能を加味した運営をスタートし、集客力を高めてきたところである。今期は新型コロナウイルス感染拡大を受け、2020年4月19日~5月11日の期間で臨時休館し、その後も来訪者の水準は戻っていない。ワーケーションも含め、中長期滞在者の利用を見込み、展望を再構築すると共に、来訪者と住民との接点、地域資源の活用に注力した運営を行った。

7. 地域限定旅行業

地域資源の活用、住民との交流を促進するため、ガイドツアーを催行。自転車旅行者のニーズに対応するため、宿泊や交通を組み合わせた着地型旅行商品を造成し、提供した。

① 募集型旅行

■第8回シクロ女子旅(秋)

2020年10月31日(土)・11月1日(日)1泊2日

10/31:18名 11/1:18名

■第10回タンデム自転車祭り

2021年3月20日(土)・21日(日)1泊2日 24名

■今治市ふるさと魅力再発見の旅

伯方島のお母さんの味でほっこりツアー

2020年9月26日(土)・10月24日(土) 延べ 5名 他



② ガイド派遣・オペレーション

旅行会社主催のツアーへのガイド派遣。

○内容:愛媛県が支援するインバウンドツアー造成検討会へのガイド派遣

実績:2020年7月28日(火) 5名 2020年11月12日(木) 5名 2020年11月18日(水) 6名

○内容:北海道方面の修学旅行生のサイクリング体験へのガイド派遣(ツアーアテンド)

実績:2020年10月30日(金)/11名

○内容:地域おこし協力隊等がサイクリングのメッカを楽しむ実地研修ツアーへのガイド派遣

実績:2020年11月5日(木)/3名

○内容:しまなみへ来訪した修学旅行生が2班に分かれて行う来島海峡大橋サイクリングのアテンド

実績:2020年11月9日(月)/138名

③自転車を解体せず、そのまま車内に持ち込める「サイクルトレインしまなみ号」の受付事務。

○四国旅客鉄道株式会社 ワープ松山

内容：JR 波止浜駅オペレーション

実績：2020 年春：新型コロナウイルス感染拡大に配慮し運行中止

2020 年秋：松山便・西条便運行時の乗降支援を行った。

8. 宿泊業「しまなみゲストハウス シクロの家」「Cyclo cafe & book Hostel なみトみなと」

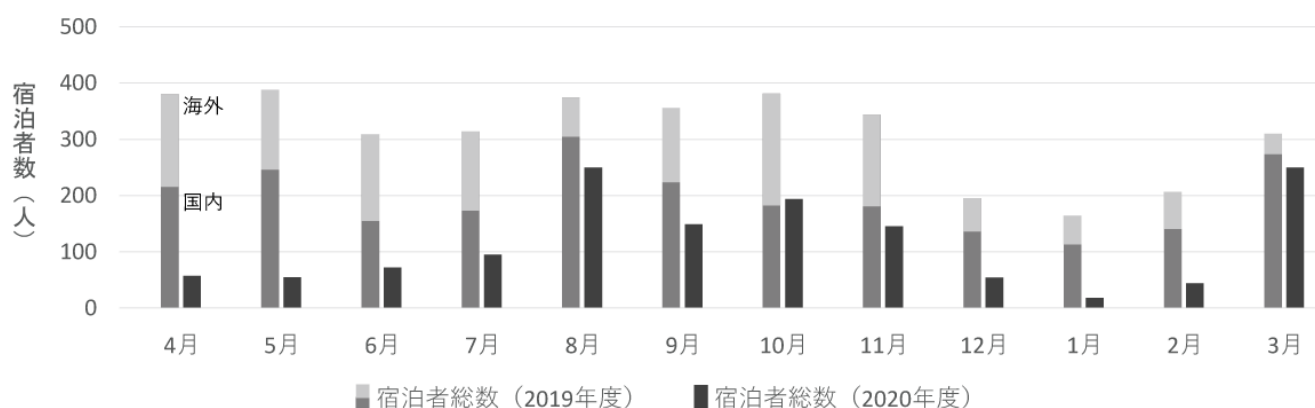
簡易宿所業は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、厳しい運営となった。開業3年目を迎え、軌道に載せる年となる予定であった「Cyclo cafe & book Hostel なみトみなと」は、建物全館（なみかた海の交流センター）臨時休業後、宿泊部門は現在も休業状態である。開業7年目に入り、一定の顧客がある「シクロの家」は感染対策を講じながら、可能な限り開所した。宿泊者は平年の4割程度と少ない人数ではあったが、しまなみ海道サイクリングの拠点として利用いただいた。



① 宿泊・立ち寄り利用実績

年間の宿泊者数は1,383人（最大収容14名/2016～2019年度平均は3,610人）だった。カフェ利用やグッズ購入を含む立ち寄り利用は304人（2016～2019年度平均は577人）となった。

《月別の宿泊者数》



インバウンド旅行者の来日は難しく、宿泊者の99%は国内在住者となった。緊急事態宣言が全国、あるいは一部地域に発令された期間（2020年4月7日～5月25日・2021年1月7日～3月21日）は、県外への不要不急の移動の自粛が呼びかけられるなど、旅行者の動きがほぼ見られなかったため、前年の15～20%程度の宿泊者数に留まった。また、しまなみ海道のレンタサイクルが貸出中止期間（2020年4月14日～6月18日）は、レンタサイクル利用対象者（一般旅行者）の来訪はほぼなくなった。四国・中国地方で梅雨明けが発表された7月30日以降、徐々に客足が戻り、8～11月は前年の国内在住の宿泊者数に近い水準まで戻った。3月は首都圏で緊急事態宣言下が続いたが、学生を中心としたサイクリング旅行者の宿泊があった。

② 宿泊者の属性と傾向

前述の通り、異例の年度となり、宿泊者の傾向も平年とは異なるものとなった。

《属性/男女比・リピート率》

	宿泊者総数（人）	男性	女性	宿泊リピーター率
2019年度	3682	57%	43%	10%（356）
2020年度	1376	66%	34%	16%（221）

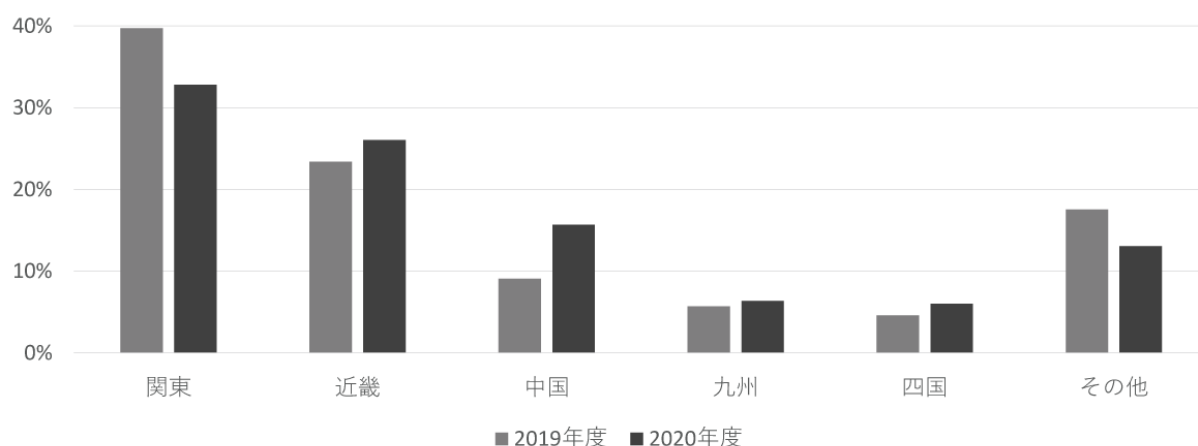
	サイクリング旅行者数（人）	My自転車	レンタサイクル	しまなみ海道リピーター率
2019年度	3001	31%（916）	69%（2085）	7%（199）
2020年度	1078	49%（530）	51%（548）	16%（169）

*カッコ内は実際の人数

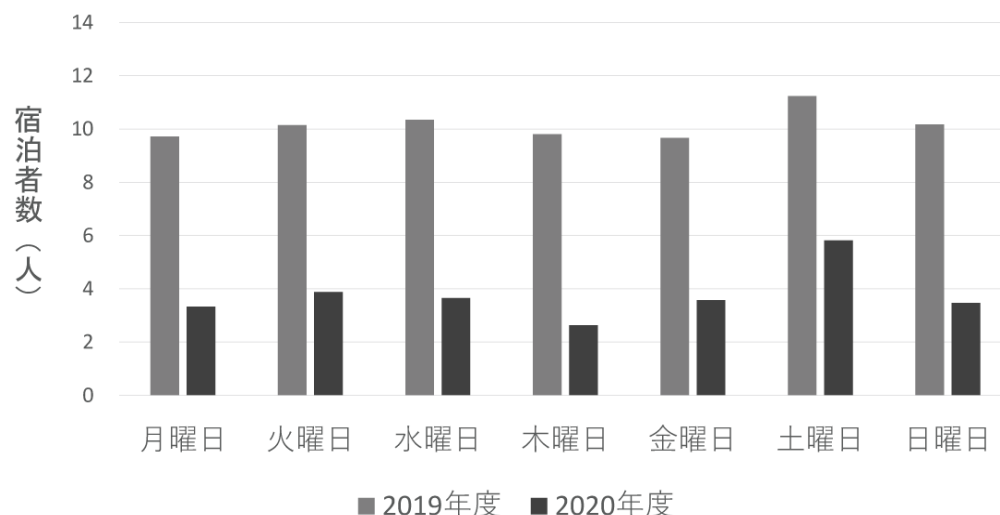
男女比は男性が前年比で1割ほど増えた。レンタサイクルを借りる一般旅行者よりも、My自転車持参のサイクリストの割合が前年比で2割高くなった。当施設のリピーター、「しまなみ海道」サイクリングリピーター率はともに増加傾向にあった。近県来訪者が多く、「しまなみ海道や「シクロの家」を応援するために訪れました」という来訪者の声は励みになった。

《属性/居住地・出発地》

国内宿泊者の在住地域



《曜日別宿泊者数》



遠方のサイクリスト、一般旅行者の来訪は段階的に戻りつつあると分析する。一方、インバウンド宿泊者は無く、これに伴い平日の宿泊者数が減り、土曜日に偏る傾向が顕著に表れた。

③ 新型コロナウイルス感染症対策

「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に則し、アルコール消毒や検温、マスクの着用、ソーシャルディスタンス確保等の対策を実施・継続している。共有スペース等には手指消毒用アルコールを設置し、タオルの共有は中止。チェックインの前には非接触型の体温計での検温、手洗いの実施を依頼した。宿帳には発熱や咳等の症状がないかどうかのチェック項目を追記した。周辺情報やハウスルールの案内等は、案内シートや地図等を改良し、ソーシャルディスタンスを確保しながら簡潔に実施した。談話室では定期的な換気、利用時のマスク着用とソーシャルディスタンスの確保を依頼した。

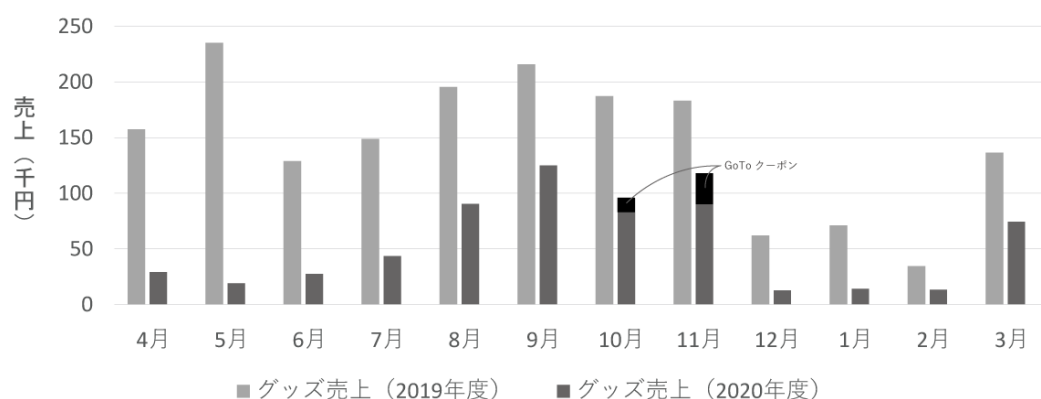
4月および5月は一時的に変則的な宿泊販売の対応として、個室とカプセルのみを売出し4人部屋ドミトリを休止。通常はない1名個室の料金を設定した（6月以降は通常の宿泊販売に戻した）。以降、ドミトリの部屋割りには、密集を避ける配慮をした。

当面、新型コロナウイルスの影響は続くため、コロナ禍での旅行者の傾向や動向を見極めつつ、安心・安全な拠点運営を行いたい。

9. 物品販売業

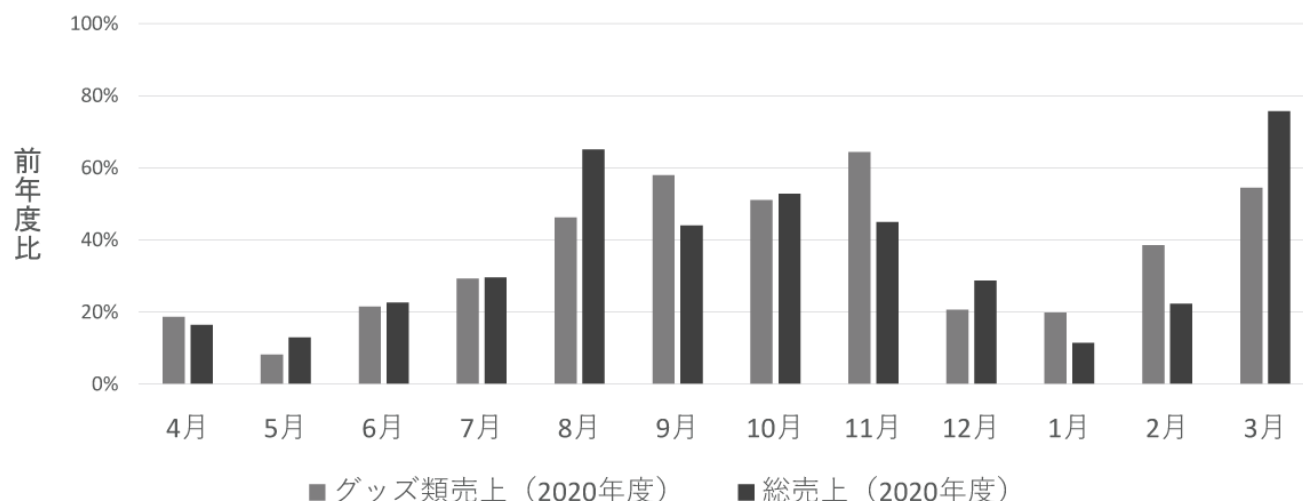
書籍類の購入は前年並みとなった。委託販売、直営販売（「シクロの家」等）は新型コロナウイルス感染拡大の一定の影響を受けた。

《直営販売の実績》



オリジナル柑橘エッセンシャルオイルを商品化した。行楽シーズンを中心にグッズ購入目的の宿泊者以外の立寄り利用があった。10月以降、「GoTo トラベルの地域クーポン券」利用を可能とした。10月、11月には利用可能店舗と利用期間が決まっている地域クーポン券を消費するための来訪もあった。

《シクロの家：グッズ売上と総売上比率》



10. 自転車まちづくり

①講師派遣

自転車による地域振興を進める機関等からの依頼に基づき、講師を派遣した。

2020 年 10 月	大学観光中核人材育成講座（観光庁事業）において、しまなみ海道の観光推進の取り組みを講義。農山漁村地域での観光ビジネスの展開について意見交換した。
	全国各地の自転車を切り口にした実践者の学びの場である地域交流会での講義。「次世代の担い手」をテーマに、しまなみのこれまでの取組と課題、展望について紹介した。

②視察受入

自転車を活用した地域活性化などについて、事前予約制で個別相談、視察を受け入れた。

2020 年 8 月	県庁内で分野横断型で自転車の振興を推進にするにあたって、官民連携によるサイクリスト受入体制づくりの視察。ガイドツアーも催行した。
2020 年 10 月	大学観光中核人材育成講座受講生を対象にしたフィールドワークの受入。地域活性化につながる観光交流事業の実践について、求められる人材像、構築すべきしくみ等を講義した。
	農山漁村地域での宿泊を伴う観光による地域振興のモデル地区として、視察を受入。サイクリングをしながら、エリア内で体験できるコンテンツを紹介した。
2020 年 11 月	各市町村に在籍する地域おこし協力隊員を対象に、サイクルツーリズム推進を学ぶ視察受入に対応。ゲストハウスの運営、旅行業の展開等に求められる人材像を講義した。
2020 年 12 月	環境配慮型のまちづくりを展開する NPO が、自転車旅行者向けの事業活動を視察。交流人口拡大を目指し、サイクリストの誘客を目指す基盤整備に向けての方向性を共有した。

③審議会・委員会・意見交換会への参加

しまなみの自転車振興や関係機関との連絡調整等に関する会議等に参加した。

今治市中心市街地再生協議会/ 今治市商工振興課	今治市中心市街地再生基本計画第 3 期の推進に関わる検討。新型コロナウイルスの影響により書面決議。
しまなみ海道周遊観光ワークショップ事前会議/本州四国連絡高速道路株式会社	観光コンテンツをブラッシュアップし、周遊を促進する方策について、ターゲット層を意識したプロモーション等による集客の検討会議への参加。
ナショナルサイクルルート・ゲートウェイ「サインライズ糸山」拡張施設完成セレモニー/今治市	「しまなみ海道」サイクリングのゲートウェイである施設の拡張完成を祝うセレモニーへの参加。ナショナルサイクルルート指定の報告があった。
ナショナルサイクルルート・ゲートウェイ「今治駅前サイクリングターミナル」竣工式/今治市	「しまなみ海道」サイクリングのゲートウェイとして新たに設置されたターミナル竣工セレモニーへの参加。利用者増、利便性等の設置効果の説明。
しまなみ地域サイクリストマナー向上推進協議会/愛媛県東予地方局今治支局総務県民室	しまなみ地域を訪れるサイクリストの交通ルールの順守やマナーアップへの意識向上対策に関して、取組の基本事項を検討する協議会への参加。

④ その他

観光推進に留まらず、環境負荷軽減、利用者の健康増進、まちづくりにも役立つ乗り物として、自転車の活用に注目が集まる。自転車先進都市として、地元企業では自転車通勤や業務利用の拡大が進められている。地元企業の要請に応じて、社員や企業活動の受益者（市民）等を対象にした講習への講師派遣を行った。

- 自転車通勤を推進する等、健康経営を目指す企業の社員を対象に安全講習を実施。2020 年 5 月講習を経て、自転車通勤を推進する企業・団体の認証制度（国土交通省）へ登録した。
- E-bike も含めたスポーツバイクの安全な乗り方、通勤での利用を講習で学習。2021 年 3 月自転車旅行者との接点が多い社員が多いことから、接遇等の改善などにいかした。



11. 会議に関する事項について

(1) 総会

① 第11回通常総会

日時：2020年5月23日（土） ※書面議決

議題：○2019年度事業報告・収支決算報告の件
○2020年度事業計画・収支予算の報告の件
○役員改選の件

(2) 理事会

第1回 日時：2020年4月20日（月）

議題：○事業推進の方向性の件 ○スタッフ体制の件

第2回 日時：2020年5月23日（土）

議題：○2020年度事業計画・活動予算の件 ○有給役員の件
○スタッフ給与の件 ○総会に付すべき事項の件

第3回 日時：2020年5月31日（日）

議題：○代表理事の選任の件

第4回 日時：2020年9月28日（月） 会場：今治市民活動センター（事務所）

議題：○フェイスブック管理業務の件 ○サイクリスト向け宿泊施設 PR 業務
○しまなみサイクルグランピング構築事業の件

第5回 日時：2020年3月1日（月）12:30～ 会場：今治市民活動センター（事務所）

議題：○各種事業の件 ○農地賃借の件